

心ふれあう

ちょっと

おかやまのちょっといい話

シリーズ⑥

※チラシは偶数月の第一月曜日に皆様におとどけています。

ありがとうで終わる夫婦喧嘩

妻と結婚して、今年で35年。思えばあつと言つ間でした。懲りずにお互い痴話げんかばかりしています。

先日の日曜日にも、脱いだものを片付けないと妻がひどく怒りだし、終いには

「もつ、話すと腹が立つからあなたとは金輪際話さない。」なんて言つのです。こちらも頭にきて

「ああー！つちもだ!!」

その方が家が静かでないよ!!」つい大きな声を出してしまいました。

直後にバタン！と大きな音がしてドアを閉めて妻が部屋を出ていきました。

しばらくは部屋にいたのですが、私も段々カムカしてそのまま外出しました。



あなたのアーバンホール

アーバンホール

葬儀・法要・ギフト

産直の事務所に行つて事務員の方に聞くと、野菜嫌いの女の子が、私の作ったホウレンソウだけは食べられるようになったと、お母さんと一緒にお手紙と花束を持ってきてくれたそうです。

びっくりしました。

手紙には、覚えてたのひらがなで

ほうれんそう

たべれるようになったよ。

ありがとうございます。

おいしいほうれんそう

つくつてね あかね

と書いてありました。

その瞬間に

(今日帰ったら、妻に謝ろう)

と自然と思えたのです。

氷山があつという間に溶けてなくなるような感覚を覚えました。

家に帰る途中も今までと違い、早く帰ってあやまりたい気持ちでいっぱいでした。

帰るとすぐに、妻のいる台所に向かい、開口一番謝りました。すると妻から

「いつもの事ですから、気にしてませんよ、さあ、晩ご飯にしましょ」と笑顔で返されてしまいました。

女の子の手紙には住所も何も書いてなかったのです、お礼ができなかったのですが、ずっと大事に取ってあります。

ホウレンソウが売れるたび、あの子が食べてくれるかな？と楽しみにしています。

あれ以来妻との喧嘩も減り、「ありがとう」を伝えられるようになりました。

あかねちゃん、ありがとう。

おいしいほうれんそう

これからもまっつてね。

私たちの思いがけないところで、ありがとうの連鎖は起こっています。一つありがとうを貰ったら、一つありがとうを返してみませんか？響きあうありがとうのつながりを私たち一人一人から始めたいですね。

「ありがとう」と言う方は、何気なくとも、言われる方はうれしい。

「ありがとう」
これをもっと素直に言い合おう。 松下幸之助

ご応募いただいた優秀な作品はアーバンホールのホームページ上・チラシなどにてご紹介させていただきます。ご意見・ご感想もお待ちしております。またご応募いただいた方全員にささやかながら粗品を進呈させていただきます。◆応募先/アーバンホール「ちょっといい話」係 〒710-0841 倉敷市城南805-1◆記入事項/①住所②氏名③電話番号④年齢⑤エピソードご応募の方は1200文字程度(原稿用紙・ワープロいずれも可)にてお願い致します。尚、作品の返却はありません。

皆様の『心ふれあう おかやまのちょっといい話』をお寄せください。

